

「税」について考える

税務課 市民税係 ☎0738-23-5504

中学生の「税」についての作文

日高納税貯蓄組合連合会、御坊納税協会、御坊税務署は、御坊税務署管内の中学生を対象に「税」についての作文の募集を行いました。

審査の結果、御坊市内から次の皆さんが各賞に選ばれました。

全国納税貯蓄組合連合会 会長賞

公益社団法人御坊納税協会 優秀賞

日高高等学校附属中学校 3年

祭本 真由さん



作文紹介

題名 『思いやりの税』

西日本大豪雨。多くの被害、被災者を出した災害。そのニュースを連日見ていた私の感想は、被災者に対する哀れみや同情だった。しかし、テレビや新聞を見るたびに、あることに気がついた。それは、自衛隊の方々が汗を流して、懸命に行方不明者の捜索や復旧作業に取り組んでおられる姿だった。あまり、私たちの生活とは関わりがない自衛隊だが、その働く姿を目にすると、自衛隊に少し興味が湧

いてきた。

今までの、私の自衛隊に対する考えは、何のために毎日訓練やトレーニングを仕事として行っているのかというものだった。しかも、税金を使って。つまり、あまり好印象ではなかったということだ。

私たちには、自衛隊のように災害が起これば、いつでも出動できる準備ができていくわけではない。もし、ボランティアで参加したとしても、慣れないことであまり力になれないかもしれない。さらに、私は中学生で勉強というすべきことがあり、大人の方も仕事それぞれにあるはずだ。そう簡単には、自分の思いだけでは助けられないのが現実。そんな中仕事ではあるが、自ら危険な場所に赴き、率先して作業する。自衛隊の方がいなければ、災害大国日本の復興がこれほど早く行われていないと言っても過言ではない。しかし、ついでにこの間まで私もそうだったように、日本という国は残念なことに、自衛隊は税金泥棒、などという人がいるのも事実。確かに彼らは税金で動いている。しかし、私たちにできないことをしておられることを忘れてはならない。

そもそも、税金は皆の豊かな暮らしを願ってこそのもので、その一環として、自衛隊の方々の活動がある。それに、自衛隊の方を税金泥棒と呼ばれるのなら、自分を見直したほうがよいだろう。私でさえ、小学校・中学校で、多くの納税者のおかげで多額の学費を一

円も払うことなく、勉強できている。この十五年間でどれだけ多くの税金を使わせていただいていることか。税金がなければ生きていけない人たちがほとんどなのに、そのような言い方はしないのではないかと思う。もちろん、私は働いていないので消費税くらいしか支払っていない。だから、仕事をしなくては手に入るお金から、税金としていくらか払わなければならぬことは大変なのだろうか。かわからない。しかし、私は将来、労働者という立場になっても、たくさん税金を納める立場になっても、今の気持ち、税金のありがたさは忘れない人間になりたい。

日本が重税国家と言われる理由は、国民がお互いの幸せを願っているからなのだと思う。これこそ、日本が世界に誇るべき助け合い精神、「思いやり」なのだろう。

県納税貯蓄組合連合会 会長賞

公益社団法人御坊納税協会 最優秀賞

河南中学校 2年

西崎 真央さん

「税金に気付かされたこと」

県租税教育推進連絡協議会賞

公益社団法人御坊納税協会 最優秀賞

大成中学校 1年

文蔵 理世さん

「税」について知る」

平成30年度「税に関する中学生の標語」優秀作品

日高地方租税教育推進協議会は、税を考える週間（11月11日から17日）の一環として、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。

審査の結果、御坊市内の中学校から右記の皆さんが優秀作品に選ばれました。

税金は 社会と向きあう 第一歩

日高高等学校附属中学校 2年

おいかわ 及川

さちか 倅加さん

税の根で 賄い成り立つ 暮らしの木

湯川中学校 2年

あべ 阿部

まひろ 舞宏さん

税金を 納めて創ろう 住み良い社会

日高高等学校附属中学校 1年

やまもと 山本

はる 悠さん